

心を合わせて子どもをはぐくむ 伴小BCS ～わくわく のびのび ばんたにっ子～

甲賀市	活動名：伴谷小学校地域学校協働本部	伴谷小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和4年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:46人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

- 学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他(自治振興会)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- (1)学校、保護者、地域で連携できるような機会を更に増やしていく。
- (2)学校敷地内裏山の整備をすすめて、子どもたちが有効に活用できるようにする。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- (1)昨年度、5・6年児童に実施したアンケートから、伴谷の事を知りたいという意見もあり、地域の方に戦争時の伴谷の歴史について講話を聞く機会をもった。
- (2)サポーターと子どもたちとの関係を深めるために、今年度サポーターと子どもたちとのふれあい交流会を計画した。(1月実施)
- (3)裏山の整備を教育後援会と進めて、子どもたちや地域の人が今年度中に利用できるように計画している。



【 6年生 平和学習 】

■ 事業の成果・展望

- (1)学校運営協議会で話し合われたことを、地域学校協働本部で取り組むことで学校の環境整備ができた。
- (2)サポーターも徐々に増えつつあり、サポーター活動も定着してきた。
- (3)コミュニティ・スクールについて地域への浸透はまだまだ不十分な面もある。新たな人材確保に向けての取組をすすめていきたい。
- (4)子どもたちの意見や考えを取り入れて活動を広げていきたい。



【 裏山整備箇所確認作業 】

■ その他

自治振興会の行事(夏休み・冬休み子ども教室・地域交流学習会)に、より多くの子どもたちが参加するように連携していく。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学級担任)

つなごろう ふれあおう 笑顔あふれる 柏っ子の“わ”

甲賀市	活動名： 柏木小学校地域学校協働本部	柏木小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：2人(兼務2人) ボランティア登録数：32人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・キャッチフレーズの中で、1年目は「つなごろう」、2年目は「ふれあおう」の部分を重点にして活動してきたが、今年度は「笑顔あふれる」の部分を大切にしながら地域の方やサポーターの方と共に活動を進めていくことについて協議した。
- ・子どもたちに学ばせたい柏木の魅力について、特に総合的な学習の中での「ふるさと学習」を進めていく。
- ・「どんな柏っ子を育てたいか」について、サポーター・教職員との合同会議を開催しグループ協議を行い、意見を発表しながら確認合った。



【 柏っ子サポ・教職員合同会議 】

■ 「つなごるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・月1回昼休みの「ふれあいタイム」の充実
 昨年度より参加サポーター数が増え、遊びコーナーをサポーターが責任をもって受けもち、手作り遊びおもちゃやペットボトル磁石作りなどの説明をしたり、将棋やオセロの対戦相手になったりする等、子どもたちとのふれあいが深まっている。また全校児童にやりたいことアンケートを取り、計画に活かすようにした。
- ・全校児童なわとび・2年生かけ算検定
 検定表を持った子どもの九九唱歌を聞き役や、なわとびの跳んだ数の数え役として、昼休みに多くのサポーターが何度も参加してくださり、子ども一人ひとりに声かけをしながら進めてくださったので、子どもたちも意欲をもってチャレンジすることができていた。

■ 事業の成果・展望

- ・クラブ活動への補助や総合的な学習の取組にも参加するなど、活動の場が広がってきて、昨年度より多くのサポーターの方に参加していただき、やりがいを感じていただけるようになった
- ・前年度、総合的な学習「ビオトープにホテルを呼び込もう」は今年度の3年生に引き継がれ、地域の方やサポーターに地域での取組や生態について教えてもらったり、器具を作って沈めたりした。また地域との共催で、全校児童対象に保護者も交えてビオトープから地域の川へ移動しながらのホテルの観賞会も行われ、学習の広がりが見られた。
- ・学校運営協議会の中にまちづくり協議会の事務局の方に入っていただくことによって、お互いの活動が把握でき、夏休みの児童の公民館活動への支援も始めることができた。今後も地域と繋がった活動を進めていきたい。
- ・夏休み期間に学校運営協議会、柏っ子サポーター、教職員合同会議を行った。互いが顔見知りの親しい関係になると同時に、「どんな柏っ子を育てたいか」をともに語り合い、取組の共通理解・共通実践の一助となる意義深い会議となった。
- ・今後は、3年間で積み上げた取組を学校のカリキュラムにしっかりと位置付けていくと同時に、サポーターにとってもより主体的でやりがいを感じられる取組に深めていくことが必要と考える。



【ふれあいタイム】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

～自分を大切に、人を思いやり、郷土を愛するみなくちっ子～

甲賀市	活動名：水口小学校地域学校協働本部	水口小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和4年度 地域学校協働活動推進員等数：2人(兼務1人) ボランティア登録数：20人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

- 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映
 学校教育目標(グランドデザイン)についての検討・承認。
 学校の課題等、現状について確認する。
 教職員合同研修会
 熟議:安全な登下校について
 「地域で子どもたちの安全な登下校を見守ろう」
 評価と次年度について



【 合同研修会 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

・6年生キャリア教育

3回目となる今年度は、新しいゲストティーチャーを含む、水口小学校卒業生の地域の方々6名にお願いした。身近な地域の方々との関わりを通して、仕事をするこの意味や楽しさ、苦労や願いなど実感の伴った理解に繋がることを願っている。本校の卒業生で、普段出会ったことのある身近な地域の方々からお話をさせていただいて、社会や仕事への不安や心配よりも、仕事に対する興味関心を高め、それぞれの将来の夢や希望を膨らませることができた。

・グラウンド整備活動

今年度は、PTAの愛校作業との協働活動となり、保護者と地域の方々、協働活動関係団体からの多数の参加となり、コミュニティ・スクールを実感できることとなる。

・放課後教室

開催4年目となり、参加対象児童は、開催を楽しみに待っているとの声が多く、年々参加児童数が増加となっている。宿題やタブレット学習に静かに取り組んだ後に、地域の方々が講師となって、音楽、工作、クッキング、スポーツ等、様々な体験学習を実施していただき、たくさんの地域の方々とのふれあいの場となった。



【 6年生キャリア教育 】

■ 事業の成果・展望

「地域で子どもたちの安全な登下校を見守ろう」

地域の目が行き届き、安心安全な登下校を地域全体で守っていくことで、子どもたちが安心できる環境づくりを考える。また、このスローガンを地域に広めることにより、自分事としてコミュニティ・スクールを知っていただけるよう、この活動を発信していく。CSだよりの発行等、紙面での発信を試みてはいるが、まだまだ地域の方々に協働活動の周知が徹底できていないため、地域の方々に見ていただけるように「のぼり旗」を作成して広報していく。協働活動の中心となる水口まちづくり協議会、岩上地域まちづくり協議会に協力依頼し、来年度より本格的に実施予定である。

■ その他

・昼休み教室 (令和8年1月より開催)

単発的に終了することなく、持続可能であることを重視して、専属のボランティアさん6名と推進員2名での当番制で、毎週水曜日の長い昼休みにCSルームを開放し、静かな時間を過ごす児童の居場所づくりを企画、開催している。地域の方とお喋りに来るだけでもよし、折り紙や工作を覚えてもらうもよし、誰かがいて安心できる場所でゆったり過ごしてくれるのも大切と考える。あたたかく、ホッとできる空間を提供し、月1回、季節の簡単工作も開催している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

ひろげよう ふかめよう ～スマイルまんたん 貴生ん最高！～

甲賀市	活動名： 貴生川小学校地域学校協働本部	貴生川小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度: 令和4年度 地域学校協働活動推進員等数: 2人(兼務1人) ボランティア登録数: 48人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・より多くの地域の方が、学校や児童とかかわる方策
- ・子どもが地域に愛着と誇りをもてるような地域学習の展開
- ・学校行事や学習活動とまちづくり協議会の活動の有機的な連携
- ・子どもが主体的に取り組み、達成感を味わえる活動の工夫



【三方よし広場】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- 三方よし広場 <不要なものを必要な人に>
 →近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」に由来
- ・各家庭にある読まなくなった本や使わなくなったおもちゃ、学用品を集め、必要な人に無償で提供する企画。
 - ・地域学校協働本部とまちづくり協議会、PTA が連携し、物品の提供を呼び掛け、保護者は学習参観日にコミュニティルームに、地域の方々は広場開催前にコミュニティセンターに持ち寄る。
 - ・コミュニティセンターが毎月行うマーケットに、年2回広場として開催。
 - ・衣料品等の無償提供を行っていた「どうぞの会」とコラボし、多くの住民や保護者、子どもが参加。

■ 事業の成果・展望

- ・各家庭の不要な物が必要とする人の手に渡り、物が有効に使われることで、SDGsにもつながっている。
- ・保護者や子どもと地域の人々が交流する場所になっている。
- ・新しいPTAのやりがいのある活動として、卒業生が在校生につなげる活動にも広げていきたい。
- ・三方よしの広場を開催することで、従来のマーケットに参加する人が増え、内容も充実してきた。
- ・物価高の中、支出を抑え、物を大切に使うことの実践が進むのではないかと考える。
- ・地域学校協働活動とまちづくりが一体となった活動になっている。
- ・子どもたちに物を大切に扱うことや長く使うことの大切さも考えさせる機会にしたい。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・利用者からは回数や品物の種類を増やすような要望もあるが、品物が増えると保管する場所や管理の面での課題もあり、利用者が企画運営に関わってもらうことが必要となる。そのためには核となる組織も必要である。
- ・学区を単位として行っているが、各地域でも不用品を気軽に提供・利用できるように仕組みができるとよい。
- ・ICT 機器を使って情報を広げ、参加者を増やすことでさらに住民の交流につなげたい。



【地域とともにある学校を目指して】

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校運営協議会で承認された学校教育目標や目指す子ども像を本部会で共有し、その達成のための支援を意識して取り組んだ。
- ・夏休み期間に学校運営協議会委員と地域学校協働本部員が教職員と合同で研修会を行った。CS の意義や目的を再確認した後、学校で学校教育目標を実現するために重点的に取り組んでいること、地域で取り組んでいることや願い等を交流することで、「学校と地域で子どもを育てる」意識の醸成を行うことができた。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

笑顔でふれあいつながろう 学校と地域が手をとり合って

甲賀市	活動名：綾野小学校地域学校協働本部	綾野小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務2人) ボランティア登録数:36人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・子どもたちや学校の実態を踏まえた「学校の運営方針」
- ・スローガンについて…学校経営管理全体計画を基にして
- ・学校運営協議会で取り組んでいく活動について(①学校教育支援 ②地域連携)…できることから無理をせずに!
- ・サポーターの拡充に向けて
- ・広報誌の発行と内容の検討について

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・まち探検や校外学習の引率や活動サポート(安全補助など)
見学場所でのグループ活動の見守りや往復経路の安全確保などを行った。学校に集合できない人は、途中の交差点での見守り等での参加もあった。サポーター人数が増えることで、小グループでの活動が容易になった。
- ・ベルマーク整理
委員会やPTAと連携してベルマークの整理をした。子どもたちだけではすべてのベルマークの整理ができないので、CSルームで整理を行った。サポーターと保護者の方が一緒に活動することで、普段の子どもの様子の情報交換や大人同士の交流にもなった。今後、子どもたちに注文の品を決めてもらう予定である。ベルマーク整理も自分ができる時間にできることをするスタンスで活動することで、PTAの方の協力者が増えていった。今後も継続していきたい。



【 まち探検 】

■ 事業の成果・展望

- ・サポーター募集については、推進員から発信する連絡ツールを活用した。当日の急な参加・不参加にも対応しやすかった。
- ・活動を始めて3年目ということで、毎年行っている活動については、サポーターの皆さんがよく理解してくださっている。そのために、スムーズな協働活動ができるようになってきている。
- ・まち探検や校外学習の引率では、地域のよさを子どもたちだけでなく、大人も再発見することができ、「来てよかった」、「私の勉強になった」、「次回も参加させてもらう」との声をいただいた。
- ・今後どのように地域に広げ、根付かせるか。細く長い活動になるように今後も無理のない範囲で活動していきたいと考えている。また、参加サポーターが固定化しつつあるため、サポーター募集をもっと地域に呼びかけ、継続して安定的な人材確保に努める必要がある。
- ・CSルームを活用することで、サポーター同士の横のつながりを深めていきたい。気軽に学校に来てもらうために、「自分のできることを、無理なくできる範囲で!」を今後も継続していきたい。



【 ベルマーク整理 】

■ その他

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(学級担任)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

思いやりの心で自ら考え行動できる子ども ～元気・やさしさ・あいさつ・一人ひとりが地域の主役～

甲賀市	活動名：伴谷東小学校地域学校協働本部	伴谷東小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(兼務1人) ボランティア登録数:50人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(自治振興会)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・伴谷東小コミュニティ・スクールが求める「めざす子ども像」の策定
思いやりの心で自ら考え行動できる子ども ～元気・やさしさ・あいさつ・一人ひとりが地域の主役～
- ・ほほえみネット第2号の発行に向けて
常にボランティアスタッフの募集情報を載せる。
※活動時間等もボランティアの目安になるため記載をする。(気軽に参画できる情報を発信)
- ・ほほえみ地域学習会について
本年度初の試み…地域とPTA、学校の共催事業で一定の成果があった。(来年度以降も続けていきたい)
- ・学校を核とした地域力強化プランについて話し合い、
文化祭への出演、子どもたちが参画する地域イベント活動の充実等、様々なアイデアを出し合った。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

ミシン学習、田植え体験、稲刈り体験、畑づくり、新体力テスト補助、図書室経営支援、調理実習、粘土学習(遊び)、逆上がり教室、薬物乱用防止教室、畑大作戦
【畑大作戦】…3年生が年間を通して、畑づくりを学んでいる。
収穫した野菜を野菜市場として、保護者や地域の方に販売をしている。



【 手作り市場
「大根マルシェ」へようこそ 】

■ 事業の成果・展望

- ・地域の方の支援により逆上がり教室では5名以上の児童ができるようになった。
- ・調理実習は包丁などを使うので、支援者が多いほど安全が確保できる。
- ・粘土遊び、郷土学習など専門の技術を持っている方々から体験的に学び、興味関心をもって熱心に質問をする姿が見られた。
- ・教職員だけでは行き届かない安全面や専門技術などはボランティアが支援することによってスムーズに学習することができるので、今後は、ボランティアの拡充をして、持続可能な学習支援をしていきたい。

■ その他

地域の活動…地域交流夏休み、冬休み教室

長期の夏休みや冬休み期間中、児童の学習習慣の確立や居場所づくりを支援するために、ばんだに自治振興会の人権学習部会が中心となって、ボランティアスタッフや地域の役員の皆様のご協力のもと進めている。

毎回2時間程度で最初の1時間は、夏休みや冬休みの宿題等の自主学習の時間とし、残りの時間は講師の先生を招いて音楽や紙芝居、ポッチャなどのゲームをして交流している



【 宿題支援&お楽しみ活動
地域交流教室 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(自治振興会)

報告書記入者(地域学校協働活動推進委員)

Re スタート 150年の時を超え新時代へ ～地域とともに～

甲賀市	活動名：土山小学校地域学校協働本部	土山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：2人(兼務1人) ボランティア登録数：25人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- 学校運営に関すること(行事、地域学、放課後教室等)
 - ・安全に実施するためボランティアを募集する。
 - ・単なる体験のみでなく、子どもが主体の活動にいく。
- 学力向上について
 - ・令和7年度は子どもが読書に親しめるような工夫について取り組んだ。



【 田村川体験 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- 6年生が総合的な学習「ディスカバー土山」の一環として、道の駅土山で提供するスイーツやイベントを企画し、道の駅の駅長さんと食品コンサルタントの方にプレゼンテーションを行った。土山や甲賀市の特産品を盛り込むなど、地域性を生かした案を提供した。
- 4年生は国語科の表現の学習で、土山のおすすめの場所を紹介する文章を考えた。3年生で学習した地域学習と、昨年作成した『CYATA(きゃった) map』を参考に作成することができた。出来上がった紹介文を、道の駅土山に置くことになった。
- 5年生では、田村川体験、鮎の放流体験、フローティングスクールを通して水環境について調べ、野洲川下流の中洲小学校とリモートで交流した。

■ 事業の成果・展望

- 学校教育目標のもと、地域の方から聞くお話や体験を通して、地域のよさを学ぶことができ、今後もカリキュラムに位置付けて取り組んでいきたい。
- 地元企業や自治振興会との協働により、子どもたちが地域の方に喜んでもらえる充実感や達成感を味わうことができた。また、地域にとっても、子どもの参画による盛り上がりや活性化を図ることができた。
- 地域のボランティアの方に見守っていただくことで、子どもの活動を安心・安全・スムーズに行うことができた。
- 事前の準備や日程調整などを推進員の方にしていただくことで、働き方改革につながっている。



【 道の駅の方へプレゼンテーションの後、アドバイスをもらう様子 】

■ その他

- 子どもたちは小学校での6年間を通して、土山の自然、産業、歴史、文化等を、地域の様々な方々や団体から学んでいる。また、イベントなど地域との協働活動にも参画することにより、地域のよさを感じ、誇りに思い、さらに発信できるようにしていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(すべての教職員)

報告書記入者(校長)

つなぐれ 大原！ みんなで 笑顔に！

甲賀市	活動名：大原小学校地域学校協働本部	大原小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務2人) ボランティア登録数:90人 <input checked="" type="checkbox"/>学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/>図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/>学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/>子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/>部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/>学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/>学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/>地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/>地域行事への参加 <input type="checkbox"/>ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/>郷土学習 <input type="checkbox"/>その他[]</p>			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・協働活動が主体的になるための工夫
- ・課題となる事業の対応
- ・目的や共通理解するべきこと 等

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・草引き活動において、募集により自発的に参加していただける方が、児童の祖父母にも広がりつつあり、児童と一緒に活動できる機会を設ける意義も大きい。加えて、防草隊(草刈りグループ)が結成され、草の状態を見て自主的に何度草刈り活動をしていただけるようになった。また、地域の方も、折を見て草刈りを実施して下さっている。
- ・地域学校協働本部に「大原のけやきと緑を守る会」を立ち上げ、草引き・草刈り活動もその一環を担うように位置付けている。今年、ハナミズキの植樹を実施した。また、校庭の環境を守るべく計画的に樹木の管理を継続するようになった。
- ・図書ボランティアグループの読み聞かせを地域にも広めたいと夏休みに地域の公民館に出向き、読み聞かせと線香花火大会を実施した。子どもたちが、読み聞かせを熱心に聞いている姿に保護者も感動。また、親子線香花火大会も喜んで活動してもらえた。



【 ハナミズキ植樹
(4年生児童とともに) 】

■ 事業の成果・展望

- ・草引き、草刈りグループが自発的に活動して下さっている。今後も継続していきたい。
- ・図書ボランティアの夏休みに読み聞かせと工作教室(学校で)を地域での読み聞かせにも結びつけることができた。地域との関わりをより深める活動を展開したい。
- ・ボランティアに来ていただいた方が、「来てよかった。楽しかった。また来たい。」と喜んでいただけているのが、一番の成果である。
- ・子どもたちからもCSの方に元気に挨拶をしたり、声をかけたりするようになり、安心できる学校活動に繋がっている。
- ・1年の流れをつかむことができ、主体的にアクションを起こすことができた。また、学年間のつながりを促すこともできている。
- ・ボランティアの年齢について、体育学習の専門学校学生以外は、ほとんどが70歳前後(定年が延長されたことも原因)であるため、次の世代へとうまくつなげていきたい。



【 地域での読み聞かせ(親子で参加) 】

■ その他

- ・学校運営協議会のメンバーが協働本部のメンバーにも入っているため、活動への理解や協力が速やかであった。
- ・ボランティアは、誰でも平等であり、強制されるものではなく、自発的なものであると考え、任意団体には依頼しない。
- ・有線放送で地域に大原小学校の草引きボランティアを呼び掛けるようにしている。目的は、募集はもちろんであるが、コミュニティ・スクールの活動を知ってもらうことでもある。また、毎月の地域向けコミュニティだよりも継続して、内容紹介を続け、地域や保護者に発信している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(担任・事務職員・用務員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

心を合わせて子どもをはぐくむ 油日小CS ～ つなごう のびよう 油日っこ～

甲賀市	活動名：油日小学校地域学校協働本部	油日小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：45人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- (1)学校、保護者、地域が連携し、子どもたちが豊かに成長できるよう一丸となる。
- (2)地域の人的資源を最大限、学校教育に生かす。
- (3)地域との連携を増やし、地域行事等に出かけ、学べる環境づくりに取り組む。
- (4)学校の取組を地域に向かって発信し、協力していただく。



【 稲刈りの支援 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- (1)学習支援活動 算数科・家庭科・体育科・総合的な学習
九九の定着・ミシン学習・調理実習・持久走の見守り・ビオトープでの環境学習
学校から地域に呼びかけたところ、様々な活動で地域の方に参加いただいた。
- (2)環境支援活動
田んぼづくり、学校周辺の環境整備作業、森林体験学習
地域住民の方が、子どもたちの学習や環境の改善を呼びかけてくださり、積極的に参加いただいた。

■ 事業の成果・展望

- ・学習支援が充実しており、子どもたちが安心して活動に参加できた。
- ・具体的な活動において、きめ細やかな支援をしていただいた。
- ・子どもたちは、地域の方が一生懸命される活動の様子を見てみると、関心や意欲が湧き、一緒になって活動に参加することができた。
- ・地域の方が子どもたちを見て、学校の様子を把握してくださるので助かる。
- ・コーディネーターの献身的な働きによって支えていただいている。持続可能な活動にすることが大切である。



【 折り紙教室 】

■ その他

- ・地域での理解を深め、地域が学校支援を進める機運を醸成したい。
- ・自治振興会も地域の子どもの育成すべく、様々なことを考え、活動して下さるので、学校と連携できてありがたい。
- ・保護者の方は平日仕事をされているため、授業中なかなか学習支援に関わる機会が少ないので、さらに呼びかけ、様々な機会を通して、関わってもらえるような周知や啓発が、より一層必要である。
- ・コミュニティ・スクールとはどのような仕組みなのか、地域への啓発を今後も続けたいといけな。今後とも一層、周知や啓発に努めたい。
- ・今後、市の学校再編、学力向上、諸課題等の教育事情の変化を近隣の学校と確認しながら、地域と学校がともに同じ歩調で子どもを育てるように考えていく必要がある。
- ・予算不足のため、十分に活動できないところもあるが、教育後援会などにも協力いただき、今後も活動が進められるようにしていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(担任)

報告書記入者(教頭)

ふれ愛 おくり愛 心はじける さやまっ子！！

甲賀市	活動名：佐山小学校地域学校協働本部	佐山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：24人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

「大人が楽しむ姿・本気で取り組む姿を子どもに示すことが、最も自然な学びにつながる」という共通認識を確認。

子どもに「あいさつしてほしい」なら、まず大人が実践してあいさつをしている姿を見せようという意見で一致した。コミュニティ・スクールの取組が、児童の心を揺らすきっかけや「こんな大人になりたい」と思える出会いを生む活動であれば、十分価値があると評価した。本部の活動全体に「新しい風が吹き始めている」という実感があり、地域連携の広がりを後押ししている。課題は地域への周知活動である。また、関わる大人を増やしていく方針を再確認した。しかし、合言葉は「無理せず・楽しく」。できるところから焦らず進めていく。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

●「さやま自由学校」開校 学校を軸にした地域づくりモデルとして発展中／土日開催

今年度は4回開催。(2月22日は学区内にある児童養護施設「鹿深の家」の体育館にて開催。)

第1回：元佐山小教職員による「お金の勉強会」

卒業生(大学生)2名も参加してくれた。就職前に恩師との再会の場になった。

第2回：さやまニンニマルシエ

地域住民の仕事紹介の場にもなる。子ども店長(輪投げ)も出店。子ども店長の感想⇒「またしたい。」

旅する元校長ひできん(三重県在住)による「怒らない子育てトーク&ライブ」

うごく！ずこうしつ「かきくるカー」出店(元教職員チョコレートアーティスト)

一人の子どもが集中してチョコレートアートに取り組む。普段見せない目の輝き。やりたい&できたを体験する。

第3回：音楽イベント

子どもが“やりたい&できた”を体験できるバンド体験

卒業生がスタッフとして参加。忙しい中参加してくれた。途中退席を名残惜しそうに見送る子どもの姿。

地域の大人バンドによる演奏。音楽を楽しむ大人たちの姿。

昭和の歌番組「ザ・ベストテン」で盛り上がる。

【出演者】佐山小学校の教職員、佐山駐在所のご家族、佐山郵便局員、地域のお寿司屋さんなど

●毎月第3木曜日ミニさやま自由学校開校。佐山コミュニティセンターを地域の人が集まる場になるよう模索中である。

●「わくわくフェスティバル」(学校伝統行事)

地域学校協働本部からの呼びかけ「豚十作り隊」結成。9名。

直前に開催された運動会会場で、地域の人へ参加の呼びかけ。

結果、高校生・高齢者も参加。6年生4グループに分け、2名ずつ「豚十作り隊」がサポートに入る。当日は中学生も加わり、「地域みんなで地域の子どもを支える」雰囲気により強化された。



【 わくわくフェスティバル 豚十作り隊 】

■ 事業の成果・展望

活動を重ねるごとに協力者が増え、佐山地域独自の「顔の見えるつながり文化」が育ちつつある。今後は「周知の強化」「関わりやすい仕組みづくり」を進め、参加のハードルを下げながら誰にとっても居場所のある学区をめざす。

■ その他

活動の様子は地域住民にも広く共有できるよう、子どものプライバシーに配慮した上で、SNS・学校だより等で積極的に発信を行っていく。卒業生がスタッフとして参加してくれるなど、地域外に出た子どもとも、ゆるくつながることができた。「さやま自由学校」は地域の居場所づくりの核として、来年度以降も継続していけるよう工夫する。教育分野に熱意のある大人たちと地域の人たちとの繋がりの場としても活用する。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

甲賀市	活動名：甲南中部小学校地域学校協働本部	甲南中部小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:41人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(甲南中部まちづくり協議会)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・今年度の「めざす子ども像」は適切か。そして、そのことを協働活動にどのように反映させるかについて
→「いいところ見つけ」について地域へ依頼と発信
- ・昨年度の反省を生かした地域と学校がつながる「中部っ子まつり」について
→児童・保護者・地域住民参加型活動の工夫
- ・学校支援ボランティア拡充について→学校のニーズに応じた新しいボランティアの募集、コミュニティ・スクールについての認知度の高め方について
→SNSの活用と校内掲示の工夫



【 中部っ子まつり 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・「中部っ子まつり」の内容を“地域とつながる”という視点から見直し、まちづくり協議会と内容について協議を重ねてきた。そして、子ども・保護者・地域住民が活動に参加できるよう7つの参加型イベントを企画・実施した。
- ・「中部っ子まつり」のイベント講師として地域及在住の方々を招聘し、授業として成立するような活動を展開してもらった。
- ・米作りボランティアを招待し、収穫した新米で子どもたちが作ったおにぎりを食べていただき、手紙等を渡し感謝の意を伝える「感謝の集い」を実施した。



【 感謝の集い 】

■ 事業の成果・展望

- ・「中部っ子まつり」では、どのイベントも子どもたちはいきいきと目を輝かせて活動に取り組み、学びの多い体験活動になった。また、保護者・地域住民の参加も昨年より多くなり、学校と地域のつながりの深まりが見られた。
- ・地域の講師の方々との交流を深める中で、地域のよさを体感するよい機会となった。
- ・学校のニーズに応じた学校支援ボランティアを募集したことで、ボランティアの拡充が図れ、子どもたちの学びの充実につながった。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(事務職員)

人と人の豊かなつながりの中で、自ら学び、心豊かでたくましく、地域を愛する子どもの育成

甲賀市	活動名：希望ヶ丘小学校地域学校協働本部	希望ヶ丘小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：111人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(希望ヶ丘学区まちづくり協議会)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域学校協働本部との連携を強化し、学区全体で地域力向上を目標とする。
- ・年3回の環境整備作業や獣害対策を地域ぐるみで実施し、児童が安心して学べる環境づくりを推進。



【 環境整備事業 集合写真 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

希望ヶ丘コミュニティセンターを、児童が安心して駆け込める「セーフプレイス(安全な居場所)」として機能させ、学校・地域・関係機関が連携して支援体制を整備している。問題が生じた場合には迅速に関係機関へ連絡し、その後の対応につなげる仕組みを確立している。

■ 事業の成果・展望

この仕組みは子どもと保護者に安心感を与える取組として定着している。地域と行政が連携して「駆け込みの場」を整える先進的な取組であり、今後も居場所として継続することが重要である。



【 希望ヶ丘コミュニティセンター セーフプレイス 】

■ その他

子どもの安全確保では、見守り隊による登下校時のパトロールを継続し、不審者情報や危険箇所を学校と共有した。

教育委員会・学校・警察と共同で通学路点検を実施し、グリーンベルトの再整備や交差点改修を進め、保護者や子どもたちの安心感が高まった。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

つながり 共に「夢」を育む 第一っ子コミュニティ

甲賀市	活動名：甲南第一小学校地域学校協働本部	甲南第一小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和7年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：33人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・コミュニティ・スクールとして、どのような協働活動ができるか、どんな活動をしているかを地域に知ってもらうために、広報紙を発行する。
- ・子どもたちの主体的な学びの深まり、教職員の負担軽減のために、学習や環境整備を支援するボランティアを募集する。
- ・持続可能な組織および活動にするために、協働本部に所属する団体の関わり方や学校支援ボランティア登録の方法等を検討していく。



【 ボランティアとメダカの飼育 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

【矢川神社楼門修繕工事の見学】

- ・学校運営協議会委員(地域の少年補導委員)の呼びかけにより、6年生全員で修繕の様子を見学することができた。修繕作業を担う棟梁や宮司さんのお話も聞くことができ、地域の歴史的な文化財について学ぶ機会となった。また、見学地へ向かう道中の安全確保として、ボランティアが引率補助を実施した。

【メダカの飼育・学習補助】

- ・「5年生の子どもたちの主体的な学びを促すために、グループでメダカを世話・観察したい」、「地域の方でメダカをくださる方はいないか」と担当教職員からの相談があり、地域でメダカを飼育している方から80匹ほど寄付いただくことができた。子どもたちが自分のメダカとして飼育・調べ活動をすることができ、飼育の自信がついた子、他のことを調べるスキルが身についた子がいた。ボランティアも定期的に世話を補助して、子どもたちとの交流も深まっている。

【子どもの見守り・学習支援】

- ・「1年生：入学後お手伝いエプロン先生」、「2年生：九九暗唱聞き取り・校区内探検」、「3年生：1kmを測ろう」、「4年生：やまなみ作業所へ行こう」、「5・6年生：家庭科調理実習・裁縫・ミシン実習」等、多くのボランティアが子どもたちの学びの見守りや補助を実施した。

【環境整備】

- ・校庭や校舎周辺の草引き、畑の土づくり、花の苗づくり、図書室整備等、子どもや教職員だけではできない作業を、ボランティアの方々に担ってもらっている。

■ 事業の成果・展望

- ・ボランティア活動を通じて、コミュニティ・スクールとしての地域学校協働活動本部の様子を地域に知ってもらうことを目指してきた1年目であった。在籍しているボランティアが新たなボランティアを見つけたり声掛けしたりして、ボランティア同士の広がりも見られる。同じ方に負担が偏らないようにするためにも、登録者数を増やす必要がある。
- ・ボランティアからは、「学校へ来ること、子どもとふれあうことにより、元気をもらえる」という活動のやりがい、子どもからは、「学習が楽しくなった」、「自分も大人になったらボランティアをしてみたい」という感想が出ている。
- ・活動をさらに周知していくためには、様々な場で目的や活動内容をPRしていきたい。(入学説明会、PTA総会、地区別懇談会、区長会議等)



【 家庭科調理実習補助 】

■ その他

甲南第一小学校HP 二次元コード



■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

まもり つながる だ(だいすき)・い(いきいき)・に(にこにこ)

甲賀市	活動名：甲南第二小学校地域学校協働本部	甲南第二小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和7年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：27人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

1年目ということもあり、以下について話し合った。
 ・「甲南第二小の子どもたちについて語ろう」
 ・「どんなことがサポートできるのか？」
 ・「学校サポーターの募集」



【新田学習】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○毎年、環境整備作業は保護者の方だけ(PTA だけ)の活動になっているが、今年度は、学校運営協議会の中で出たこともあり、地域の方の協力を得て活動が行われた。作業に慣れている方の協力で非常にありがたかった。
 ○地域学校協働活動推進員が声をかけ、「理科のチョウの卵」や「図画工作科で使用する木などの材料」、「ゲストティーチャー」などを探すなかで、地域のものや人との関わりが広がった。

【特徴的な活動】

(1)新田学習

1・2年は川遊び、3年ウオークラリー、4年カヌー、5年水源地調べ、6年歴史学習を本校の校区である杉谷新田で学習を行った。地域のサポーターや保護者、ゲストティーチャーの協力を得た。

(2)化石博士から学ぼう

6年生の理科の「大地のつくり」では地層や堆積岩、化石の学習をする。地域の方に紹介していただき、本校の校区に住んでいるゲストティーチャー(世界中で化石の研究をしている方)を招いて出前授業が行われた。



【化石博士から学ぼう】

■ 事業の成果・展望

まだ始まったばかりであり、活動が波にのっているとは言えない。まだまだ準備段階である。他校の活動を参考にしながら、子どもたちのための活動を増やしていきたい。
 活動を重ねることで、改善点が見つかり、工夫しながら、「子どもたちの成長のため」、「持続可能」を大事にしながら、よりよい活動につなげていきたい。また、活動を重ねながら、地域の方や保護者の方にまずは知っていただくこともしていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(事務職員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)